

資源エネルギー庁 御中

止めよう！ダイオキシン汚染・関東ネットワーク  
事務局長 藤原 寿和

### 廃棄物発電の推進に関する疑問点

#### 1．廃棄物発電は熱効率が極めて悪い

現在、自治体等で実施されている廃棄物発電の熱効率は10%以下で、通常の火力発電等による熱効率と比べても極めて熱効率が悪い実態にある。

この熱効率、とくにエネルギー回収効率については、ドイツでは廃棄物発電を認める際にハードルを高い値（75%以上）に設定しているが、この点についてどのように考えているのか。

#### 2．廃棄物発電によって二酸化炭素の排出量が削減されるとの根拠を示されたい。

3．廃棄物発電は、東京や大阪のような大都市地域におけるヒートアイランドの発生源になっているとの専門家の指摘もある（尾島俊雄早稲田大学教授）が、この点をどう考えているのか。

4．廃棄物発電を導入すると、定格出力を常時コンスタントに維持するためには常にそれだけのゴミ量を集めなければならないが、これは廃棄物減量化（リデュース）政策に逆行するのではないか。

5．廃棄物発電の燃料源として廃プラスチック類を使用する場合には、各種有毒ガスの発生が避けられないが、その防止策と安全性の確保、排ガス除去装置及び炉周りの各種機器類の腐食問題について、どのように考えているのか。

6．廃棄物発電の導入によって自然エネルギー系の普及にブレーキをかけることになると思われるが、この点についてどのように考えているのか。

7．デンマークでは、熱負荷と汚染負荷を与える廃棄物発電をはじめとするサーマルリサイクルは、環境保護法によりリサイクルとして認めていないと聞いているが、承知しておられるか。

以上